



ポート・ワシントン学区

教育委員会会議: 2020年3月31日 コミュニティからの質問・コメントへの返答

- 質問 #1:** 言語聴覚サービスや特別教育サービスを含むサービスの継続については、誰に連絡すれば良いですか？
- 回答:** お子様の言語聴覚士をご存知であれば、直接連絡を取って頂くのが最善です。ご存知ない場合は、sallen@portnet.org にてDr. Stephanie Allenまでご連絡ください。
- 質問 #2:** リーディングサポートを受けている子供については、どのような計画がありますか？
- 回答:** 学生にリテラシー/リーディングサポートを提供する教師は、遠隔で指導を行なっています。お子様に関する具体的な質問がある場合は、Eメールでリーディング教師に直接ご連絡ください。
- 質問 #3:** 他の/周囲の学区の教師は、より長時間のオンライン指導を行なっていると聞きましたが、本当ですか？
- 回答:** 周囲の学区およびその他の学区の管理者から得た情報によると、現在のところ、これらの学区の教師は当学区のフェーズII計画に記載されている最低条件以上の直接的指導を行なっていません。実のところ、周囲の学区には、プライバシーに対する懸念のため交渉団体から許可がおりず、ライブ画像を用いた遠隔学習を提供していない学区もあります。
- 質問 #4:** 教員に、テクノロジーをツールとして用いる課題解決型学習について職能開発訓練を提供することはできますか？
- 回答:** 現在、学区は遠隔/通信教育と学習について教員を支援するため、職能開発セッションをオンラインで提供しています。パンデミックが起こる前に課題解決型学習について訓練を受けた教員もいますし、学区は引き続きこのアプローチを検討していきます。しかし、教員は今、課題解決型学習を用いるかどうかにかかわらず、現状を考慮したうえで可能な限り最良の教育を学生に提供することに集中しています。これを念頭に置くことが重要です。学区の教員の多くはこの指導法にすでに精通していることも考慮すべきです。

質問 #5: ポート・ワシントン教育委員会は週に一度会議を行うことを検討しますか？
回答: 我々は委員会が持つ責任を認識しており、この前例のない危機の間、コミュニティに随時情報を提供することに全力を注いでいます。我々は、これを遂行するための最善の方法を常に検討しています。

質問 #6: 家庭にChromebookを配布していただきありがとうございます。特に小学校では、子供と一緒に作業を行うために家族もテクノロジーを学ぶ必要がありますが、どのようにしてスペイン語を話す家族の関与を促しますか？

回答: 学区の主要目標の一つは、学区の全ての家庭が子供をオンライン学習に従事させられるようにすることでした。結果として、一人以上の学生に個人用デバイスがない家庭にChromebookが配布されました。このプロセスはまだ続いています。提供されたテクノロジーに精通していないスペイン語を話す家族については、新しい言語としての英語(ENL) ディレクターShirley Ceperoと子供のENL教師が、テクノロジーと遠隔学習について支援するために、家族と継続して連絡を取っています。さらに、テクノロジー利用に関する指導を提供するリソースをこれらの家族と共有しています。この危機が起きる前に1台、または2台以上のデバイスがあった家庭においても、子供のニーズと親・保護者の仕事、その他のニーズの間でデバイスを利用する時間を配分するのは非常に困難であることは承知しています。実際のところ、これは、必須のサインイン時間を設けることやリアルタイムで行う必要のある指導が多くの学生にとって実現不可能である理由の一つです。現在、自宅に少なくとも1台のデバイスがある学生にChromebookを配布する予定はありません。

質問 #7: 学校にバインダーや本を置いてきてしまった学生は、取りに行くことができますか？

回答: 学生、家族および職員の健康と安全に対する懸念があるため、学校施設から私物を回収する許可を出すことはできません。

質問 #8: カレッジについて考え始める11年生は、高校のキャリアの中で最も重要な時期にあります。学区はどのように11年生を支援していく予定ですか？

回答: 進路指導教員は、他のサポートエリアスタッフと同じく、パンデミックの間も引き続き勤務しています。カレッジに願書を提出する手続きについて具体的な質問があれば、お子様の進路指導教員にご連絡ください。kklein-rabinovich@portnet.org にて進路指導ディレクターのKitty Klein-Rabinovichまでご連絡いただくこともできます。

質問 #9: これらの変更は、カレッジの入学選考を考える11年生にどのように影響しますか？

回答: この件については、高等教育機関から後ほどより詳しい情報が提供される予定です。しかし、このパンデミックにより学生が不利になることはないと考えます。

質問 #10: 学校が夏まで持ち越される可能性はありますか？

回答: クオモ州知事から夏季に関する指示が出るかはまだわかりません。しかし、学区は過去にも提供されたことがある地域夏季プログラムを提供することを望んでいます。

質問 #11: 教育委員会は、教師が学生を指導する義務のある最低時間数は不十分であると考えますが、なぜこの時間を増やさないのですか？

回答: カリキュラムは、教育委員会ではなく、学区の専門教育者によって作成されます。この過程がこの危機により変更されることはありません。教育委員会はフェーズIおよびフェーズII計画について採決を行いませんでした。どの理事会でも同じですが、7人のメンバーの間には異なる意見があります。教育長は、フェーズII計画が各学年に対して規定する教師との直接的な交流の時間は最低のガイドラインであり、この危機が続く中で計画は発展すると会議で明確にしましたが、我々は皆同じ意見です。学区の学習の継続計画は、この質問やその他の多くの質問に対応しますのでご参照ください。

<https://www.portnet.org/site/handlers/filedownload.ashx?moduleinstanceid=17801&dataid=28417&FileName=v5%20Continuity%20of%20Instruction%20Guidance%20Document.pdf>

質問 #12: 同期型学習と非同期型学習の時間数や割合などに関する教師のためのアドバイスはありますか？それは教師自らの判断で決定するものですか？

回答: 学区の学習の継続計画は、この質問やその他の多くの質問に対応しますのでご参照ください。

<https://www.portnet.org/site/handlers/filedownload.ashx?moduleinstanceid=17801&dataid=28417&FileName=v5%20Continuity%20of%20Instruction%20Guidance%20Document.pdf>

質問 #13: 学区のガイドラインに対する違反に関する苦情はどこに相談すれば良いのですか？

回答: パンデミックが起きる前の指揮系統は引き続き有効です。学区は、管理者と教員と共にフェーズII計画を立てました。教育委員会は教員・補助職員全員がガイドラインに従うことを期待しています。懸念がある場合、保護者の方はまず教師に連絡してください。問題が解決しない場合は、次に校長（ウェーバーとシュライバーの場合は学生の教頭）に連絡してください。

質問 #14: 学生の視点から言えば、教師や同級生の顔を見て、声を聞けることは嬉しいことです。しかし、カメラ/マイクは切るように言われました。教師の顔を見ることは私たちにとって重要なことですが、これは継続されますか？

回答: 教師がライブ指導を行う際は、プライバシーに対する懸念があるため、教師を録画することや教師の写真を撮ることは控えてください。この件に関するより詳しい手引きは、学区の学習の継続計画をご参照ください。

<https://www.portnet.org/site/handlers/filedownload.ashx?moduleinstanceid=17801&dataid=28417&FileName=v5%20Continuity%20of%20Instruction%20Guidance%20Document.pdf>

質問 #15: 少なくとも州が定める1日の最低指導時間数を満たすことを期待していますが、どうでしょうか？

回答: フェーズIおよびフェーズII計画の両方は、このパンデミックの時期にニューヨーク州教育省(NYSED) が定めた必要条件を満たします。

質問 #16: 幼稚園から2年生までの学生については、現在の状況が学年末まで続く場合、9月までにカリキュラムを調整する予定はありますか？

回答: このパンデミックの期間とNYSEDからの指示により2020-21年度のカリキュラムは調整される可能性があります。